

# 海上保安大学校

Homepage



教育方針

- ① 人格の陶冶とリーダーシップの涵養
- ② 高い教養と見識の修得
- ③ 強靱な気力・体力の育成

海上保安庁の幹部職員に必要な知識や技能を教授し、  
心身の錬成を図るとともに、  
海洋政策に関する調査研究をすることを目的とした、  
広島県呉市にある教育機関です。



待遇

入学と同時に国家公務員（海上保安庁職員）として採用。給与支給。入学金、授業料不要（詳細はp13-15を参照）

## 本科

p20-23

試験名 海上保安大学校学生採用試験

受験資格 高校卒業後2年未満まで  
（詳細はp16を参照）

教育期間 4年9カ月

本科4年間、専攻科6カ月間、研修科（国際業務課程）3カ月間の計4年9カ月間の教育を受けます。本科卒業と同時に、学士（海上保安）の学位が取得できます。

## 初任科

p24-25

試験名 海上保安官採用試験

受験資格 大学卒業後30歳未満まで  
（詳細はp16を参照）

教育期間 2年9カ月

初任科で1年間の教育を受けた後、特修科に編入し、さらに1年間の教育を受けます。その後、本科卒業生と同様、専攻科6カ月間、研修科（国際業務課程）3カ月間の計2年9カ月間の教育を受けます。

## 特修科（1年）

現場経験を経て選抜試験に合格した者の課程です。初級幹部として必要となる学術や技能を身につけます。

## 専攻科（6カ月）

本科卒業・初任科等修了後、練習船いつくしまで諸外国をめぐる遠洋航海実習を行い、海外寄港地での関係機関の見学や市民との国際交流により見聞を広め、国際感覚を養います。

## 研修科（国際業務課程）（3カ月）

専攻科修了後、実用英語能力、国際関係知識などの国際業務対応能力、初級幹部職員として必要な実務能力を習得します。

## 本科

2学年の後半から、航海、機関、情報通信に分かれます。本科を卒業した学生は専攻科に進み、諸外国をめぐる遠洋航海実習を行い、国際感覚を養います。その後、3カ月間の研修科(国際業務課程)において、語学を中心とした国際業務対応能力や実践的な海上保安業務に関する知識を習得します。



**カリキュラム** 複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要かつ高度な専門能力を身につけるとともに、航海、機関、情報通信の各専攻に分かれ、海技免状などを取得するために必要な海事系の専門的な知識を習得します。

1学年	2学年	3学年・4学年	専攻科	研修科
<b>基礎教育科目</b> 幅広い教養を身につける <b>【共通科目】</b> 哲学、文学、法学、法学演習、憲法、経済学、数学、統計情報処理、物理学、物理学実験、化学、化学実験、英語、英会話、保健体育など <b>【選択科目】</b> 中国語、韓国語、ロシア語のいずれか				
<b>専門基礎科目</b> 専門教育を受けるために必要な基礎能力を身につける <b>【共通科目】</b> 国際政治、政策科学、情報科学、気象学、海洋学、実務英語、リーダーシップ論、国際法、刑法、刑事訴訟法、行政法、民事法など			専攻科 (6カ月)	研修科 (国際業務課程) (3カ月)
<b>群別科目</b> 航海(第一群)、機関(第二群)、情報通信(第三群)のいずれかに分かれて学ぶ ● 第一群…航海学、船用計測工学、船体運動工学、海事法、船舶工学など ● 第二群…材料力学、機械力学、工業熱力学、電気機械工学、原動機工学、船舶設備工学など ● 第三群…情報理論、電子回路、通信システム、電磁波工学、通信工学実験、モバイルネットワークなど  <b>専門教育科目</b> 複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要な、高度な専門能力を身につける <b>【共通科目】</b> 海上保安制度論、海上犯罪捜査、捜索救助、海上交通政策学、海上警察権論、国際紛争論、国際海洋法、海上安全学、海難救助工学、特別研究、組織行動論、海上保安演習、海上警察政策など			その他 実用英語、国際業務、現場実務、海上犯罪論、海上安全工学論	
<b>訓練科目</b> 逮捕術や救急安全法など現場で必要となる特殊技能を身につける 逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、潜水、水泳、総合指揮(基本動作、統率管理)、救急安全法など <b>実習科目</b> 小型船舶の操船技術や通信技術を学ぶ 小型船舶、通信実技、国際通信実習、マリンレジャー実習など				
<b>乗船実習</b> 習得した船舶運航の知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身につける 国内航海実習		国内航海実習	遠洋航海実習	

## 取得する資格・免許

	第一群(航海)	第二群(機関)	第三群(情報通信)
<b>取得できる資格</b> (履修により取得)	三級海技士(航海)の筆記試験免除 第一級海上特殊無線技士/第二級陸上特殊無線技士	三級海技士(機関)の筆記試験免除	航空無線通信士 第三級海上無線通信士
<b>取得を目指す資格</b> (受験により取得)	三級海技士(航海) 一級、二級海技士(航海)の筆記試験	三級海技士(機関) 一級、二級海技士(機関)の筆記試験 一級小型船舶操縦士	基本情報技術者試験 第一級、二級陸上無線技術士 第二級海上無線通信士

## 卒業後の進路

卒業後はまず巡視船の初級幹部職員として配属され、海上における治安の確保、海難救助、海洋環境の保全、海上交通の安全の確保などに従事します。その後、本庁、管区本部などの陸上勤務となり、海上保安行政の企画・立案、各省庁などとの協議・調整などを担い、海上勤務、陸上勤務を交互に経験しながら、様々なキャリアを積み幹部職員となります。また、希望と適性により、航空機のパイロット、特殊救難隊、潜水士、国際捜査官などの分野に進むほか、大使館・国際機関などに出向する機会もあり、海上保安業務の多方面で活躍することができます。

\*詳しくは、卒業生の声(p34-35)、キャリアアップモデルコース(p62)を参照

## 第一群(航海)

航海学、船用計測工学、船体運動工学、海事法、船舶工学などを学び、三級海技士(航海)の資格取得を目指します。



## 現場に必要な専門的な知識を学び日々成長を実感

高校時代に海上保安庁の船内見学に参加した際に見た海上保安官の姿に憧れを抱くようになりました。また、以前から海洋環境保全に興味があり、海上保安庁が幅広い分野で業務を行っていることを知り、様々な観点から海に携わることがで

きる点に魅力を感じました。

今は二級海技士の筆記試験に向けた専門的な航海科の授業に加え、法律や海難救助工学など、現場に必要な知識を学んでいます。定期的に訓練も行われるため、とても充実した毎日を過ごしています。好きな授業は航海学です。灯台などの地理的標識を用いて位置を割り出す地文航法や、星などの天体を用いて自船の位置を求める天文航法、航海計器の使用方法を学びます。自船の

位置や到着予定時刻などを自分で割り出すことで、航海士としての成長を実感できることが楽しいです。

学生寮の目の前には瀬戸内海が広がっており、毎日の忙しさと訓練、勉強で疲れても海を見ると心が落ち着き、頑張ろうと思えます。将来は、周囲の人から頼られる海上保安官になりたいと考えています。そのためにも、日々努力を続けて小さなことから確実に積み上げていきたいと思っています。

### Message

幅広い分野の学問を勉強できます!



本科4学年  
第一群(航海)  
**守屋 汐里**  
Shiori Moriya

- 出身地……………東京都
- 出身校……………東京都立小山台高等学校
- 好きな言葉……………努力に勝る天才なし
- モットー……………継続は力なり
- 学食のイチ推し……………カレーライス、唐揚げ
- 休日の過ごし方……………お菓子づくり、広島市内で買い物

## 第二群 (機関)

材料力学、機械力学、工業熱力学、電気機械工学、原動機工学などを学び、三級海技士(機関)の資格取得を目指します。



### 些細な違和感に気づき 安全航行を支える 機関士になりたい

海上保安官である父の姿を見て育ちました。父のようなカッコいい海上保安官になりたいと思い、海上保安大学校に進学しました。

第二群では、燃料潤滑油工学や原動機工学など、船の心臓部であるエンジンを動かすための勉強の

ほか、国際海洋法や海難救助工学など、現場で必要となる知識も学んでいます。とりわけ船舶設備工学に力を入れており、この授業ではポンプや冷凍機、熱交換器など、船の機関室にある機械類の構造や仕組み、特性を知ることができ、新しい知識が増えていくことがとても楽しいです。訓練では安全管理を担う指揮者として必要な知識・技能の習得に努めています。

海上保安大学校の学生は、学生

であると同時に国家公務員であるため、毎月給与が支給されます。給与をもらいながら幹部海上保安官として必要な素養・知識を習得するため勉学に励むことができる点は魅力の一つだと思います。

将来は、船が安全に航行できるよう、どんな些細な故障や違和感にも気がつき、事故を未然に防ぐことのできる機関士になりたいです。その一歩として在学中に一級海技士筆記試験の合格を目指しています。

Message

同期と助け合えば、  
どんな困難も  
乗り越えられます



本科4学年  
第二群(機関)  
**和田 唯**  
Yui Wada

- 出身地 ..... 神奈川県
- 出身校 ..... 横浜市立南高等学校
- 好きな言葉 ..... 地位とは責任である
- モットー ..... 自分に優しく、他人にはもっと優しく
- 学食のイチ推し ..... カレーライス
- 休日の過ごし方 ..... 部活動、野球観戦、サウナ

## 第三群 (情報通信)

情報理論、電子回路、通信システム、電磁波工学、通信工学実験などを学び、航空無線通信士、第三級海上無線通信士の資格を取得できます。



### 周りの人から 信頼される 海上保安官を目指す

中学生のときに交通事故に遭い、たくさんの人に助けていただいた経験から、自分も人を助けられる仕事に就きたいという思いが強くなり、海上保安大学校を志望しました。

第三群は、通信士になるための必要な専門分野を学びます。そのほ

か、国際法や行政法など行政官として必要な分野も習得します。一番好きな授業は、信号の周波数や半導体の特性などを調べる通信工学実験です。一見複雑に見える回路も、細かく見ると単純なものの組み合わせであることを知り、組み合わせ次第で複雑な回路を作成できることがとても興味深いです。

4年間の寮生活も貴重な体験です。海上保安大学校には全国各地から様々な背景を持った人が集まり

ます。それらの個性を認め合わなければ良好な人間関係は構築できません。仲間と議論を交わしながら、お互いを許容し合うことの難しさと重要性を学ぶことができました。また、同期の影響で筋トレをする習慣も身につきました。

現場に赴任すると部下職員ができる立場となるので、彼らが能力を発揮しやすい職場環境をつくることも、誰からも信頼される海上保安官になりたいです。

Message

大学校の4年間は  
とても楽しく有意義な  
時間になります!



本科4学年  
第三群(情報通信)  
**池田 弘毅**  
Koki Ikeda

- 出身地 ..... 愛媛県
- 出身校 ..... 愛媛県立松山東高等学校
- 好きな言葉 ..... 千里の道も一歩から
- モットー ..... 継続
- 学食のイチ推し ..... 唐揚げ
- 休日の過ごし方 ..... ランニング、筋トレ、サウナ、映画鑑賞

# 一般大学卒業者を対象に幹部職員を養成

## 初任科

入学時から航海・機関の各専攻に分かれて学びます。2年間の研修修了後、本科卒業生と同様、専攻科に進み、諸外国をめぐる遠洋航海実習を行い、国際感覚を養います。その後、研修科(国際業務課程)で語学を中心とした国際業務対応能力や実践的な海上保安業務に関する知識を習得します。

入学 ▶ 初任科…1年 ▶ 編入 ▶ 特修科…1年 ▶ 専攻科(遠洋航海)…6カ月 ▶ 研修科…3カ月 ▶ 現場赴任

### カリキュラム

本科生と同様、複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要かつ高度な専門能力を短期間で身につけるとともに、航海、機関の各専攻に分かれ、海技免状を取得するために必要な海事系の専門的な知識を習得します。

1年目(初任科)	2年目(特修科に編入)	専攻科	研修科
<b>共通科目</b> 複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要な専門知識を身につける 法学概論 海上保安業務演習など		<b>専攻科</b> (6カ月)	<b>研修科</b> (国際業務課程) (3カ月)
<b>専攻別科目</b> 航海または機関の専攻に分かれ、それぞれの専門知識・技能を身につける <b>●航海科</b> 航海学基礎、航海計器学基礎、海洋気象学基礎 運用学基礎、海事法基礎など <b>●機関科</b> 機関構造学基礎、内燃機関学基礎、蒸気機関学基礎 補助機関学基礎、電気工学基礎、電気機器学基礎 機械工学基礎、材料工学基礎、工業化学基礎 機関実務基礎、機関法規基礎など			
<b>訓練科目</b> 逮捕術や救急安全法など現場で必要となる特殊技能を身につける 逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、水泳、基本動作、救急安全法など		<b>その他</b> 実用英語、国際業務、 現場実務、海上犯罪論、 海上安全工学論	
<b>実習科目</b> 小型船舶の操船技術や通信技術を学ぶ 小型船舶、通信実技、マリンレジャー実習 救命消火、無線英語、無線技術、航海・機関英語講習、電子海図情報表示装置実習(航海科のみ)など			
<b>乗船実習</b> 習得した船舶運航の知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身につける 国内航海実習		遠洋航海実習	国内航海実習

### 取得する資格・免状

	航海	機関
取得できる資格 (履修により取得)	四級海技士(航海)の筆記試験免除	四級海技士(機関)の筆記試験免除
	第一級海上特殊無線技士/第二級陸上特殊無線技士	
取得を目指す資格 (受験により取得)	四級海技士(航海) 一・二・三級海技士(航海)の筆記試験	四級海技士(機関) 一・二・三級海技士(機関)の筆記試験
	一級小型船舶操縦士	

### 卒業後の進路

初級幹部職員として、日本全国の巡視船などに配属され、海上における治安の確保、海難救助、海洋環境の保全、海上交通の安全の確保などの業務に従事します。その後、本庁や管区海上保安部、巡視船などに勤務しつつ、幹部職員としての経験を積んでいくこととなります。※詳しくは、卒業生の声(p35)、キャリアアップモデルコース(p62)を参照

## 初任科

航海または機関の専門知識・技能を身につけ、四級海技士の資格取得を目指すとともに、海上取締法規、救難防災論などの海上保安業務に関する知識を習得します。



### 潜水士として海難救助活動に従事したい

高校生の頃に救助・救急に興味を持ち、大学では救急医療を専攻して救急救命士の資格を取得しました。また大学時代に海上保安庁の仕事の幅広さを知り、海上の犯罪捜査・海洋調査・パイロット・外交・南極地域観測など、様々な業務を

経験できることに魅力を感じて初任科を受験しました。

大学卒業後30歳未満が受験資格の初任科には様々な学問・職種の実験者が集まります。自分にはなかった考え方に触れる機会が多く、日々新たな発見が得られます。また、救助のエキスパートである特殊救難隊、警備実施に特化した特別警備隊など様々な業務を経験している教官が数多くおり、興味ある分野について深く学ぶことができます。

一番好きな授業は航海学です。海図を用いて自船の位置を確認する術を習得します。航海士となって現場で活躍している自身の姿を想像すると胸が高鳴ります。

将来的には潜水士として海難救助活動に従事することを目指しているので、ウエイトトレーニングを軸とした体力錬成に力を入れています。仕事面や人間性の部分で上司と部下から信頼されるような海上保安官になりたいです。

#### Message

映画『海猿』を観れば海上保安庁に興味が高まりますよ



初任科(航海科)  
**高須 大地**  
Daichi Takasu

- 出身地……………埼玉県
- 出身校……………日本体育大学
- 好きな言葉……………俺の敵はだいたい俺です
- モットー……………alegre (スペイン語で陽気な)
- 学食のイチ推し……………カレーライス
- 休日の過ごし方……………同期とお酒を飲む

# 乗船実習

海を舞台に活躍する海上保安官には、機動力の源となる巡視船艇を自在に操る技術、そして海上で発生する現象に精通するプロとしての能力が求められます。巡視船艇に乗船し、その運航業務を果たせるよう、航海・機関・情報通信の専攻に応じ、現場に即した乗船実習を実施しています。

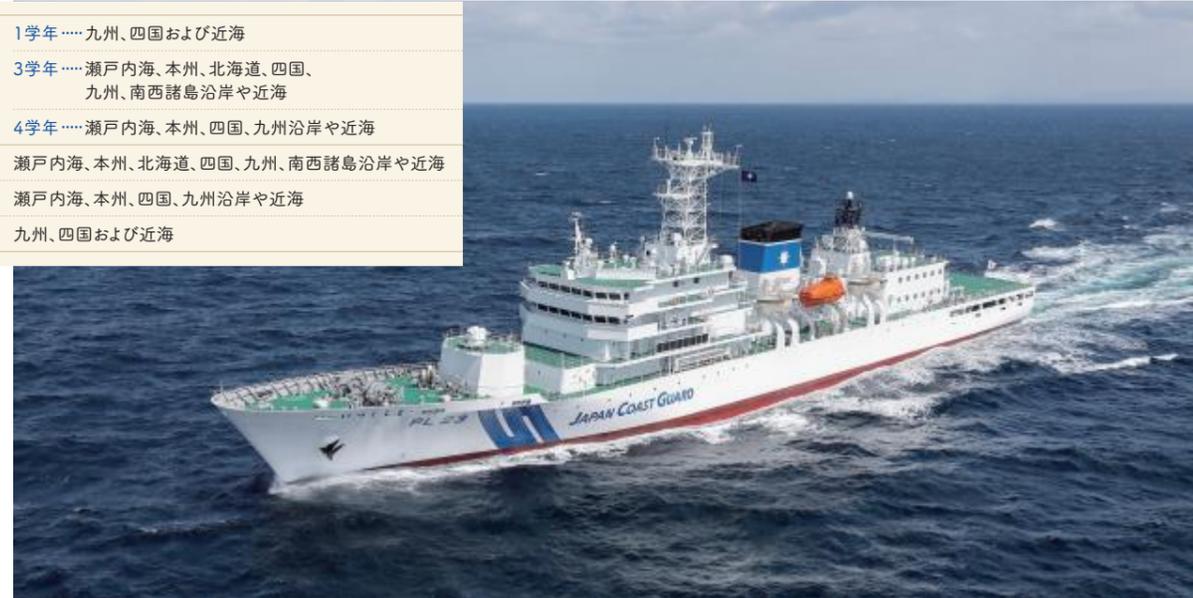
本科、初任科、特修科、研修科対象

## 国内航海実習

練習船いつくしまに実習生として乗船し、日本全国の沿岸や近海の国内航海を経験します。各種訓練を通じて、船舶運航に関する航海・機関・情報通信の各専門分野の知識・技能を身につけるとともに、海上保安業務に関する知識を習得します。

実習場所

1学年	九州、四国および近海
3学年	瀬戸内海、本州、北海道、四国、九州、南西諸島沿岸や近海
4学年	瀬戸内海、本州、四国、九州沿岸や近海
初任科	瀬戸内海、本州、北海道、四国、九州、南西諸島沿岸や近海
特修科	瀬戸内海、本州、四国、九州沿岸や近海
研修科	九州、四国および近海



### 練習船いつくしま

●総トン数…5,500トン ●全長…134メートル ●幅…16.3メートル ●速力…20ノット以上



航海実習

搭載艇揚降訓練

船内防水訓練

Message

乗船実習での様々な経験が自分を成長させてくれます

### 座学での学びはすべて乗船実習に活かれます

4年間で3回の国内航海実習を経験します。1学年時は約1カ月の実習で、船内生活に慣れる、船の業務について知るということを目標に、航海当直や訓練など航海、機関、情報通信のすべての業務に取り組みます。3学年時は、各専攻に分かれ、北海道から沖縄まで日本一周の航海をします。4学年時は、全員で武器訓練や船の修繕を行うドック実習を行います。それぞれの学年で新しいことを経験できるので、とても有意義な実習です。乗船実習では、座学で理解しきれないことを、実物を見たり体感したりすることで習得することができます。また、現場と同じように自ら考え行動し、リーダーとなって周りの人を動かしていくことが求められます。これらの経験を活かして、幹部海上保安官として国民や部下から信頼される存在になりたいです。



専攻科(航海)

大久保 璃子 Riko Okubo

- 出身地……………福岡県
- 出身校……………福岡県立明善高等学校
- 好きな言葉……………始まれば終わる!
- モットー……………なんとかなる!
- 学食のイチ推し……………スクランブルエッグ、ドックパン
- 休日の過ごし方……………映画やドラマ鑑賞、睡眠

専攻科対象

## 遠洋航海実習

太平洋、インド洋などをはじめとした航海を実施し、諸外国をめぐる遠洋航海を経験します。約3カ月の遠洋航海で船舶運航に関する技術の習得、精神力、実践力および統率力を身につけます。寄港地の文化や生活に直接触れることによって見聞が広まり、現地の海上保安機関や市民との国際交流を通じて国際感覚も養えます。

実習概要

対象……………専攻科 期間……………約3カ月

寄港地……………(2025年度)サンフランシスコ、ホノルル、マジュロ、シドニー、チェンナイ、シンガポール  
※寄港地は年によって変わります。



2025年度 ●航海日数…99日間(外地寄港日を含む) ●総航程…約24,000海里



コロール(パラオ)での施設見学

海外の海上保安機関との合同訓練

パナマ運河運航

Message

一般大学では味わえない圧倒的に濃い経験ができます

### 訓練で得た知識を現場で応用できて一人前

遠洋航海は国内航海と違い、航海時間は長く訓練で得られた経験を現場で活かせるレベルまで落とし込まなければいけないなど、求められるスキルが違います。主任機関士になるためには、ただ漠然と習ったことを実践するのではなく、基礎知識を応用しなければならないと痛感しました。大変なことも多い遠洋航海ですが、日付変更線通過祭や赤道通過祭で教官や仲間たちと大いに盛り上がったことは今でも忘れられません。停泊中は、寄港地の海上保安機関の方を招待して練習船の甲板上で一緒に食事をしました。主に英語での会話となるので満足に会話することは難しかったですが、充実した時間を過ごすことができました。現場赴任後は災害や事故の被害に遭われている方をいち早く救助できる海上保安官を目指します。



専攻科(機関)

枇杷木 詔斗 Mikoto Biwaki

- 出身地……………広島県
- 出身校……………広島県立呉宮原高等学校
- 好きな言葉……………やりたいことをする
- モットー……………いつかはやるなら今やる
- 学食のイチ推し……………カレーライス
- 休日の過ごし方……………筋トレ、飲み歩き

# 海上保安大学校の1日

日々規律正しい生活を送る中には、座学や実習といった授業以外にも、部活動や寮生活を通じてたくさんの学びがあります。全国各地から来た同期とのつながりは、厳しい寮生活はもちろんその後、現場で働き始めてからも支えになります。



自習室の各自の机で予習復習!



朝起きたら一番にベッドメイク

敬礼! 今日も1日頑張ります!!



わからないことも仲間に聞けば安心

起床/整列・体操・掃除

朝食

旗章掲揚

授業/訓練→終了後体育部活動

自習時間

6:30

7:10

8:00

8:20

8:45

12:00

13:00

17:15

19:00

22:15

22:30

課業整列

授業/訓練

昼食



着替えたら、晴れた日は外で整列



仲間と食べる食事は一層美味しい!

夕食・入浴・外出許可

帰校門限 消灯

食事をしながらおしゃべりに花が咲きます

外出で気分をリフレッシュ!



自主訓練も仲間と一緒に楽しく励める

## Message

他大学では体験できないことをしつつ、青春を味わえるのが魅力です

本科2学年 第二群(機関)

西村 優駿 Masatoshi Nishimura

- 出身地 ..... 広島県
- 出身校 ..... 修道高等学校
- 好きな言葉 ..... 上善如水
- モットー ..... 凡時徹底
- 学食のイチ推し ..... 唐揚げ
- 休日の過ごし方 ..... 温泉でリラックス



## 休日は温泉施設で心身ともにリラックス

全国各地から人が集まるので、最初は方言の多さに驚きましたが、各地の文化や多種多様な人と触れ合えるのは海上保安大学校の面白さの一つだと思います。上級生、下級生と団体生活をするので、自身を客観視するよう心がけ、予測して行動するようになりました。自分の行動が周囲に与える影響について考える癖がつき、それを考慮した行動を取り、より良い関係を築けています。休日は同期と一緒に過ごしたり、呉駅前の温泉施設に行ったりすることが多いです。温泉に浸かると心身ともにリラックスできて日々の疲れが取れます。将来は特殊救難隊に入り、救難現場第一線での活躍を目標に、人々に信頼され笑顔を守ることができる海上保安官になりたいです。

## Message

海上保安大学校でともに学べる日を楽しみにしています

本科1学年

中川 碧 Aoi Nakagawa

- 出身地 ..... 群馬県
- 出身校 ..... 群馬県立前橋高等学校
- 好きな言葉 ..... 雲外蒼天
- モットー ..... 何事にも全身全霊で取り組む
- 学食のイチ推し ..... ロースカツ
- 休日の過ごし方 ..... 近くのショッピングモールで買ったプリンやケーキを食べる



## 仲間と固い信頼関係を築きました

寮生活では、周囲と協調性を持って行動することの大切さを学びました。個々人が自分勝手に振舞っては、団体生活は成り立ちません。上級生とは普段はたわいもない話をする事も多いですが、訓練の際には緊張感を持って真剣に取り組むメリハリのある関係性です。4年間の寮生活で仲間と固い絆を育み、強固な信頼関係を築けることが海上保安大学校の魅力の一つです。部活動は、ヨット部に所属して日々鍛錬しており、ヨット以外の小型船舶の操船もします。これらの技術は現場に出てからも必要となるため、良い学びになっています。将来は、困難な状況下でも先頭に立ち、部下を引っ張る海上保安官になりたいです。

# 学生生活

授業や訓練、寮生活、部活動、年間の行事を通じて、学生同士の強い信頼関係が築かれます。



## 年間主要行事

入学式	4月	学生祭(海神祭)	被服点検
遠洋航海出港式	5月	学生国際会議	遠泳訓練
登山(オリエンテーション)	6月	総合指揮訓練	
寮内点検	7月	特別研究発表会	卒業式
帆走巡航	8月		
オープンキャンパス	9月		
遠洋航海帰港式	10月		
寮内点検/被服点検	11月		
耐寒訓練	12月		
耐寒訓練	1月		
総合指揮訓練	2月		
	3月		

# 施設紹介

広大な敷地には、「海上保安シミュレーションセンター」「総合実習棟」「潜水訓練用プール」といった実践訓練に適した施設をはじめ、男子学生用の「三ツ石寮」と女子学生用の「麗女(うるめ)寮」に加えて、「こじま寮(2025年11月完成)」があります。

## 学校施設

正門	海上保安シミュレーションセンター	
講堂兼体育館	潜水訓練用プール	トレーニングルーム
本館教室	特別訓練棟	

## 体育部活動

全学生が参加し自主的に運営。大会や遠征、他大学などの交流も盛んです。



端艇部/逮捕術部/剣道部/水泳部/柔道部/テニス部/サッカー部/バスケットボール部/野球部/ヨット部/バレーボール部

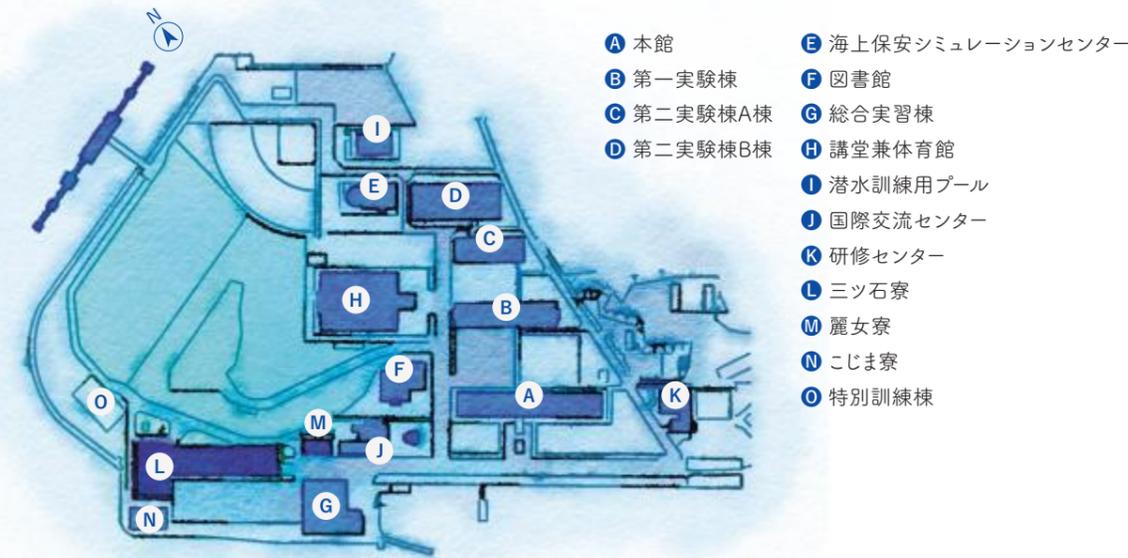
## 課外活動

文化・ゼミ・同好会活動も活発に行われています。



ライフセービングクラブ/行政法ゼミ/国際法ゼミ/刑法ゼミ/刑訴法ゼミ/救難同好会/学生音楽隊/茶道同好会/邦楽同好会/応援團

## 海上保安大学校構内図





# 卒業生の声

海上保安大学校を卒業し、それぞれの現場で海を守っている先輩たちに、海上保安官としての“仕事のやりがい”を聞きました。



本庁装備技術部  
航空機課企画係  
2017年 本科第一群(航海)卒業

## 酒居 奈江 Nae Sakai

- 出身地 …………… 大阪府
- 出身校 …………… 大手前高等学校
- 好きな言葉 …………… なんとなかな
- 休日の過ごし方 …… 家族でお出かけ

### 仕事も子育ても精一杯やりたい！ そんな働き方が叶えられる職場

高校時代から自立心が旺盛で、公安職に漠然とした憧れがありました。その中で、たまたま『海猿』を観たこともあり、今まで考えたこともなかった海での仕事＝海上保安官の仕事がカッコよく見えて(笑)というのが、この仕事を選んだ動機です。

卒業後は巡視船に2年間乗り、現在は本庁で航空機の整備に特化した部署で予算管理などを行っています。今の部署に異動してから出産、育休を取得しました。海上保安官はなかなか休めないイメージがあるかもしれませんが、もちろん船の勤務は不規則ですが、今の部署は緊急事案対応が少ないためカレンダーどりの出勤、時短勤務も可能で、子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていることはありがたいですね。逆に、限られた勤務時間を密度の濃いものにするため、集中して仕事ができますし、「今日は頑張った!」という達成感も大きいです。



鹿児島海上保安部  
巡視船あかいし 主任通信士  
2023年 本科第三群(情報通信)卒業

## 石羽 俊介 Syunsuke Ishiba

- 出身地 …………… 福岡県
- 出身校 …………… 九州国際大学付属高等学校
- 好きな言葉 …………… 千里の道も一歩から
- 休日の過ごし方 …… 映画鑑賞・読書

### 新技術を取り入れて 効率的に海の安全を守る

巡視船「あかいし」の主任通信士として、通信機器を使用して、情報収集を行ったり、他の船とのやり取りをしています。また、巡視船が出港・入港する際には無線機を持ち、船橋と作業員との間の通信を担当しています。そのほか、船の情報通信に関係するシステムの管理・整備も行っています。

「あかいし」の乗組員は皆、思いやりにあふれており、気持ちよく日々の業務に取り組んでいます。また、プライベートも充実しており、休日は趣味の映画をたくさん観ていますね。

今後は、何か新たなものを取り入れる業務に関わりたくと考えています。海上保安庁では無操縦者航空機の運用を開始し、その運用を拡大しようとしています。様々な技術が着々と進歩していく中で、海上保安庁がより効率よく、海の安全や環境保全のために取り組めるように貢献していきたいです。



羽田特殊救難基地 隊長  
2016年 本科第二群(機関)卒業

## 野田 健斗 Kento Noda

- 出身地 …………… 福岡県
- 出身校 …………… 福岡県立城南高等学校
- 好きな言葉 …………… おごらず、人と比べず、面白がって平気に生きなさい
- 休日の過ごし方 …… ゆっくり体を休める

### 自分の打ち込める 仕事を探せる海上保安官

潜水士を目指したのは、子どもの頃に観た潜水研修のドキュメンタリーがきっかけでした。そのときの第一印象は「カッコイイ!」でしたが、興味を持って調べていくうちに、よりシビアな人命救助に携わる特殊救難隊を知り「この仕事をしたい」と強く思うようになりました。

特殊救難隊に配属されて6年目。現在は隊長を務めています。隊員全員が一刻を争う場面での「人命救助」という目的に向かって働く職場は、熱い活気があり、やりがいに満ちています。人の命、そしてチームや自身の安全も守りながら任務に就く時間は緊張の連続。常に五感を研ぎ澄ませ、集中しなければなりません。だからこそ味わえる達成感もかけがえないものです。子どもの頃からの憧れだった特殊救難隊で働けていることを、とても幸せに思っています。



鹿児島海上保安部  
巡視船あかつき 主任機関士  
2024年 初任科(機関)修了

## 和田 展忠 Nobutada Wada

- 出身地 …………… 東京都
- 出身校 …………… 高知工科大学
- 好きな言葉 …………… 積小為大
- 休日の過ごし方 …… 鹿児島の温泉巡りとサウナ、ドライブ

### 日本の海の安全 主任機関士として貢献

大学卒業後、民間企業に就職しましたが、得意な英語を活かせる仕事に就きたいという思いから、幅広い国際業務がある海上保安庁へ入庁を決めました。

現在は巡視船「あかつき」の主任機関士として、燃料および潤滑油搭載の調整や機器の分解清掃などの機関科作業に加え、領海警備や外国船舶の立入検査などに従事しています。巡視船の任務として、外国船などの監視対応をする領海警備があります。安全保障の最前線を担う船の心臓部を扱う機関士の責任は重大で緊張感のある現場ですが、その分やりがいもあり、任務が終わったときの達成感は一息おです。船艇勤務は陸上勤務と比べると拘束時間が長いですが、入港すれば十分な休暇も取ることができます。また、船内生活でもプライベートの時間は確保でき、筋トレや読書、資格取得などの試験勉強に励んでいます。